



水害に強い甲府盆地推進研究会
山梨大学地域防災・マネジメント研究センター

地域防災・マネジメント研究センター主催

防災シンポジウム

～水害に強い50年後の甲府盆地～

2018年西日本豪雨による岡山県真備町の水害は、甲府盆地の水害の縮図であり、浸水区域からの広域避難のための計画の早期策定が、山梨県にとっての喫緊の課題であることを提示しました。一方、2019年台風19号による被害の様相は、つぎの水害対策は、河川が氾濫してもまちの機能と県民の資産の被害を最小限に抑え、水害をかわして早期に立ち直ることのできるレジリエントなまちの構築であることを教えてくれました。

日時：2020年3月18日 13:30～16:20

場所：山梨県立図書館多目的ホール

- 13:30～13:35 主催者開会挨拶
- 13:35～14:30 水害に強い甲府盆地 研究成果公表
- 14:40～15:50 パネルディスカッション
- 15:50～16:10 質疑応答
- 16:10～16:15 閉会の言葉

水害から「守る」、「逃げる」に加え、水害を「かわす」ことのできるまちづくりについて、防災の専門家が検討しました。その結果に基づいて、水害に強い持続的な発展の期待できる50年後の甲府盆地を描いてみました。本シンポジウムをみんなで考える機会にしたいと思いますので、多数の参加をお願いします。

参加費無料 申込不要

※当日は、マスク着用にてご参加願います。

研究会構成メンバー：山梨大学地域防災・マネジメント研究センター、花岡利幸・山梨大学名誉教授、土木研究所自然共生研究センター、国土交通省甲府河川国道事務所、山梨県建設業協会、山梨県造園建設業協会、山梨県建築設計協会、山梨県建築士会、サンポー、黒沢建設、オリエンタルコンサルタンツ、建設技術研究所、パシフィックコンサルタンツ、オブザーバー：山梨県、県内市町村